



メンバーがデザインしたTシャツで登場したGLoRiA

「GLoRiA(グロリア)にとって音楽とはつながりです。音楽でつながっているからメンバーが集まることができます。」と話してくれたのは昨年も出演したGLoRiAのメンバー。高校を卒業したメンバーはこの1年それぞれの道を突き進んでいた。そんな彼女たちを再び同じステージへと導いたのは音楽と地元広野町だった。

「広野は自然が豊かで田んぼが私たちを呼んでいます。やっぱりここしかないという感じ。いつでも帰ってきたい。」と広野町を愛する気持ちが伝わってきた。

ステージでは、新曲も披露した。本番に向けて数少ない練習も、去年の自分たちを超えなければいけないという気持ちでカバーした。また、この日は自分たちでデザインしたTシャツも披露。かっこよさの中にかわいさを取り入れたデザインとなった。

「町民のみなさんありがとうございます。また来年もぜひ出演したいです。」

## 再び同じステージへ GLoRiA (グロリア)

PEACE (本名・鶴田貴大) さんがラップを担当しているバンド「5右衛門UPPERS」が大いに会場を沸かせた。PEACEさんは毎年、広野町のサマーフェスティバルに足を運んでいることなどをきっかけに今年の参加が決定した。

「5右衛門UPPERS」は2009年に結成され、埼玉県を中心に活躍中のグループ。今回のライブでは生演奏に乗せて、ラップ、ソング、ダンスを披露し、会場を盛り上げた。

メンバーに広野町の感想を聞いたところ、「町がきれいですてきです」、「お客さんが温かった」、「涼しくて、星がきれい」、など広野町に好感を抱いていた。



広野町にゆかりのあるPEACEさん

## 5右衛門UPPERS (ゴエモンアップーズ)



楽打の会は力強いばちさばきを披露



笠踊り保存会の皆さん



美川憲二のものまねショーも行われました

広野町サマーフェスティバル2010は8月12日、ニッ沼総合公園で開かれ、町民のみなさんやお盆をふるさと広野で過ごした帰省客がさまざまなイベントを楽しみました。イベントでは毎年恒例の大抽選会をはじめ、郷土芸能笠踊りや手話コーラス、楽打の会、広野昇龍太鼓が演奏を披露。また、日本ジャズダンスグランプリに輝いたエクスプレッションDSやかもめパン工房のみなさんによる歌と踊り・手話、ものまねショーなど、ステージを熱く盛り上げました。また、双葉郡美術協会長の鶴田松盛さんの孫のPEACE(本名・鶴田貴大)もさいたま市IIさんがDJを務め、メジャーデビューを目指しているバンド「5右衛門UPPERS」は力強いパフォーマンスでイベントを盛り上げました。

会場では、地元産の小麦や大豆を使ったうどんや豆腐などを販売する出店も並び、浴衣姿の家族連れらでにぎわいました。

フェスティバルの最後を飾った花火大会では、会場全体を明るく浮かび上がらせるほどの色とりどりの花火が夜空を焦がし、会場に訪れた人々から拍手と歓声が沸き起こっていました。

ひろのの夏は今年も熱かった